

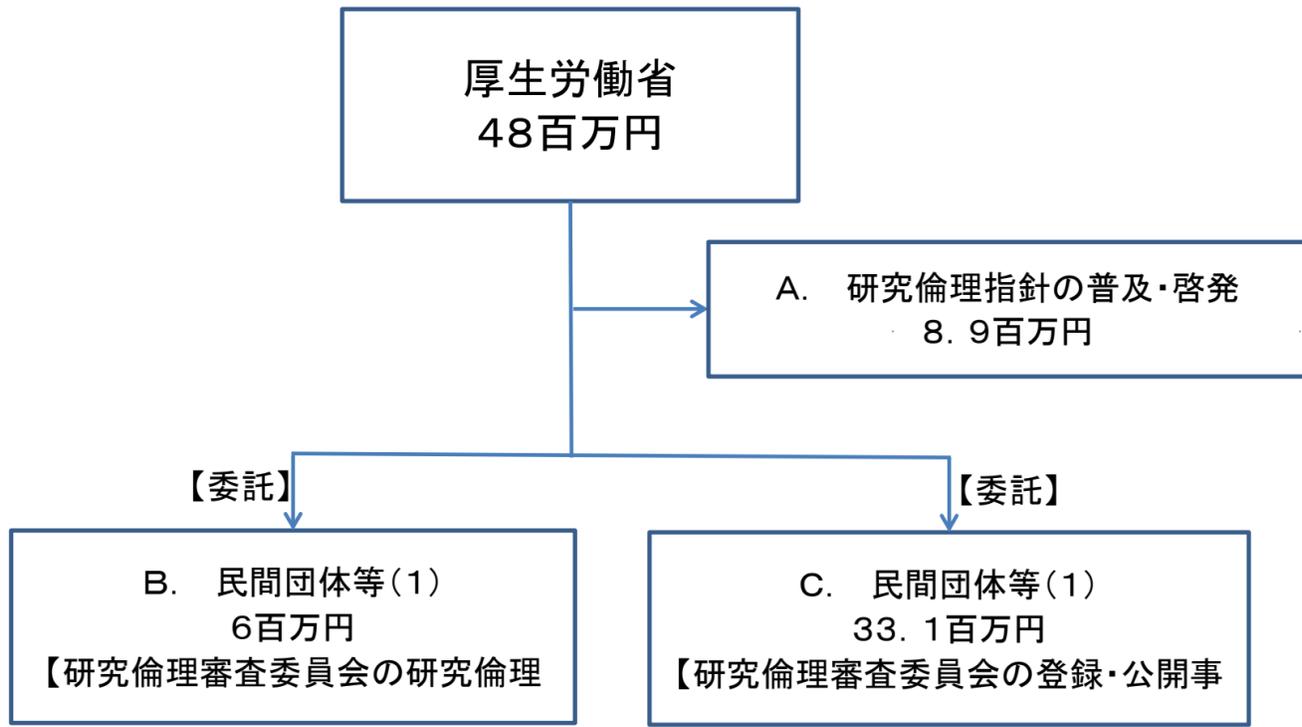
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	科学技術研究推進費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	厚生科学課	工藤 俊明			
会計区分	一般会計	政策・施策名	XI-3-1 感染症の発生・蔓延の防止を図るための研究開発を推進すること。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の適正かつ効果的な実施を確保するため、疫学研究倫理指針と臨床研究倫理指針を統合した新たな指針について普及啓発を行うとともに、研究機関の長等によって設置されている研究倫理審査委員会の質の均てん化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	疫学研究倫理指針と臨床研究倫理指針を統合した新たな指針について周知が必要であること、及び学際的な研究の増加に伴い指針が適用される研究に参加する研究者の範囲が広がっていることから、医療系以外の研究者に対しても普及啓発を行う。また、研究機関の長等によって設置されている研究倫理審査委員会について審査の質のバラツキが指摘されているため、研究倫理審査委員会の登録・公開及び新たな研究倫理指針への適合性調査を通じて、研究倫理審査の質の均てん化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算					48
		補正予算					
		繰越し等					
		計					48
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	研究倫理指針の普及啓発・研究倫理審査の質の均てん化を図るための経費であるため、その成果を数値で示すことは困難。	成果実績	件	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研究倫理審査委員会の登録件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
単位当たりコスト	-	算出根拠	執行額/活動実績				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0	0.1				
	職員旅費	0	0.3				
	委員等旅費	0	0.3				
	庁費	0	8.2				
	委託費	0	39.1				
	計	0	48				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
	国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	新たな研究倫理指針に適合した研究が行われることについて、広く国民のニーズがあり、その普及啓発を図ることは国費を投入しなければ事業目的を達成できない。また、倫理審査委員会の質の均てん化についても、新たな研究倫理指針に適合した研究が行われるためには不可欠であり、国費を投入しなければ事業目的を達成できない。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	厚生労働科学研究事業は国の事業であり、その適正かつ効果的な実施を確保するための事業を、地方自治体や民間等に委ねることは適当でない。		
明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	新たな指針の普及啓発に係る説明会の実施費用や、研究倫理審査委員会の質の均てん化を図るための調査費用等に係る必要な経費であるため、明確な成果目標の達成手段と位置づけられる。また、新たな指針に適合した研究が実施されること及び厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施を図ることは、厚生労働行政の中でも社会的要請の強いものであるため、優先度が高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	-				
	-				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	本事業は、研究倫理指針の普及啓発・質の均てん化を行う事業であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					